

ディプロマ・サブリメントの概要

ディプロマ・サブリメントは学生が取得した学位・資格・履修内容・能力・知識等の学修成果について対外的に可視化するために、文章やグラフ等で補足する資料です。

本学のディプロマ・サブリメントは下記の要素で構成されています。(記載例は地域経営学科のものです。記載内容は、学科により異なります。)

- ①基本情報:氏名、学籍番号、生年月日、所属、入学年月日を記載
- ②ルーブリック評価(卒業年次):卒業年次に実施したルーブリック評価の最終評価(0~4)をグラフ化
※ルーブリック評価の最終評価が未実施の場合は、データが表示されません。
- ③在学中に取得した資格等:学科が取得を推奨している資格の取得状況(在学中に取得した資格のみ記載)
- ④教員免許等:学科で取得可能な教員免許の取得状況を記載
- ⑤特記事項:表彰等の特記事項を記載
- ⑥ルーブリック評価票:各学科のルーブリック評価票を記載

記載例

ディプロマ・サブリメント

1. 基本情報

氏名 八学 太郎	①	所属 地域経営学部 地域経営学科
学籍番号 22012345		入学年月日 2020年4月1日
生年月日 2001年4月1日		

2. ルーブリック評価 (卒業年次)

3. 在学中に取得した資格等

ITパスポート試験
目録簿記検定試験2級

2級ファイナンシャル・プランニング技能士

4. 教員免許等

高等学校教諭一種免許状(商業)
高等学校教諭一種免許状(情報)

5. 特記事項

優等賞
地域経営マイスター

参考) 地域経営学科ルーブリック評価票

特級の記号	4	3	2	1	0
会話の文法・語彙	十分意思疎通でき、長文でも文法が乱れることがなく、表現したいものに対して適切な言葉を使用できる	十分意思疎通できるが、例外文法が乱れる。もしくは語彙が不足している	短文や短文のみの発話が多く、語彙も正しいが、意思疎通はできる	短文や短文のみの発話が多く、語彙も広く、意思疎通できない場面があるが、会話ができる	本記に該当しない
解釈する力	聴取の中で興味を持つ点を自発的に発見し、自身と相手の興味を引き出しながら深く聴取を継続できる	相手に合わせて楽しく聴取できる	聴取を続けられるが、進めない	聴取を続ける。もしくは聴取に必要な基本的な態度(声量・表情・姿勢)を伴えないが、聴取の場に関与することはできる	本記に該当しない
社会課題の発見力	自ら社会課題を発見し、かつ課題に関与する情報を自ら収集・分析し、検討している	自ら社会課題を発見するが、批判にとどまっている	一般的な社会課題に対して興味関心があるが、自ら課題を発見することはできていない	社会課題に関する興味がないが、話を聞いて共感することはできる	本記に該当しない
地域への理解	地域の産業構造・地理・歴史・文化について、固有な専門知識を含みながら興味を持って議論できる	一般的に認識されている地域の特徴を一通り理解し、地域について議論することができる	一般的に認識されている地域の特徴を理解していない	地域に対する理解や共感が乏しいが、地域について知ることを拒否はしない	本記に該当しない

発行日 2024年3月14日

八戸学院大学

学長 水野 眞佐夫